

SONY®

ILME-FR7

ネットワーク接続ガイド

目次

1. 概要	3
1.1. 他社のサービスおよびソフトウェアについて	3
2. システム図とフローチャート	4
2.1. ネットワークシステムの構成図及びハードウェア接続構成図	4
2.2. フローチャート	5
3. 事前確認	7
3.1. ネットワークの準備	7
3.2. ネットワーク接続時の注意	7
3.3. ネットワーク接続の順番	7
4. 機器を接続する	8
4.1. タブレットまたはコンピューターを接続する	8
4.2. カメラの接続する	12
4.3. リモートコントローラーを接続する	15
5. トラブル時の対処	18
6. 商標について	20
7. 改定履歴	21

1. 概要

本書では、ソニー製レンズ交換式デジタルカメラ ILME-FR7 を使用して複数台のカメラをローカル環境で使用するためのセットアップを行う手順などについて説明します。また以降、本製品 ILME-FR7 を「カメラ」または「本機」と記載します。

ご注意

カメラの運用には常に最新のソフトウェアをご使用ください。

ソフトウェアのアップデート手順及びカメラ操作に関しては、ヘルプガイドをご確認ください。

1.1. 他社のサービスおよびソフトウェアについて

- ・別途の利用条件が適用される場合があります。
- ・サービスやソフトウェア更新の提供が予告なく中断、または終了する場合があります。
- ・サービスやソフトウェアの内容が予告なく変更される場合があります。
- ・他社のサービスおよびソフトウェアを使用したことによる、お客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

2. システム図とフローチャート

今回作成するシステムの構成図と、カメラのネットワーク接続を行う際の手順の概要を説明します。

2.1. ネットワークシステムの構成図及びハードウェア接続構成図

以下に本書で例として作成するネットワークシステムの構成図を示します。今回はリモートコントローラー RM-IP500 を 2 台、カメラ ILME-FR7 を 3 台、タブレット端末 2 台でシステムを構成します。なお、各デバイスは任意の固有の IP アドレスを持つものとします。

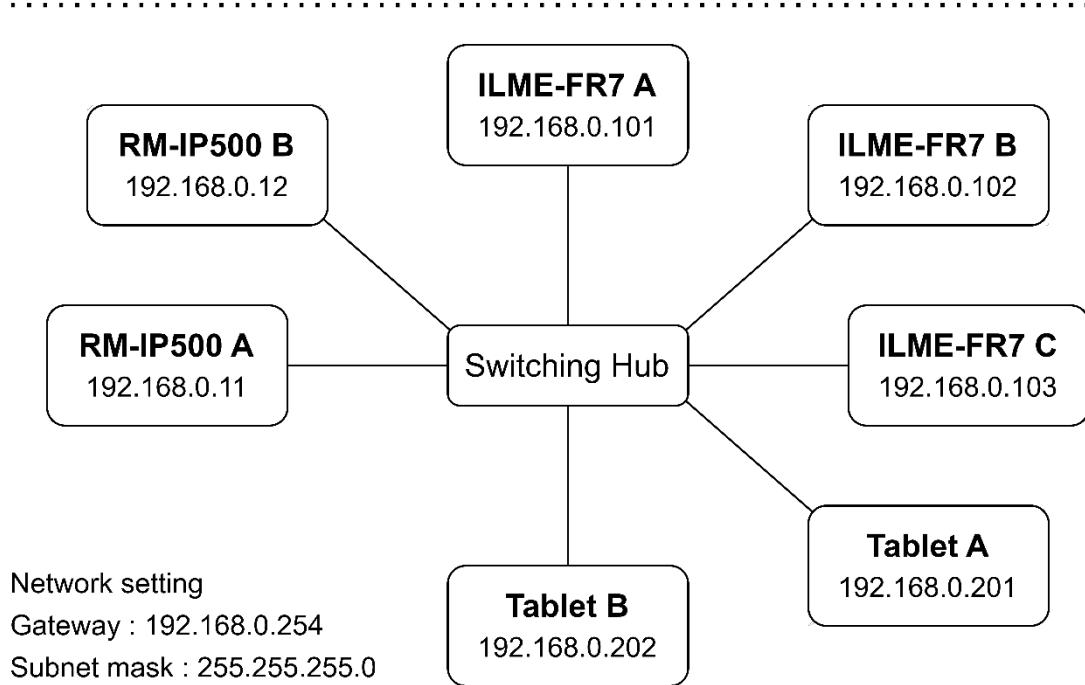


図 1 ネットワークシステムの構成図

また、以下にハードウェア接続構成図を示します。各機器へのケーブル接続方法は 4 章の各節をご参照ください。

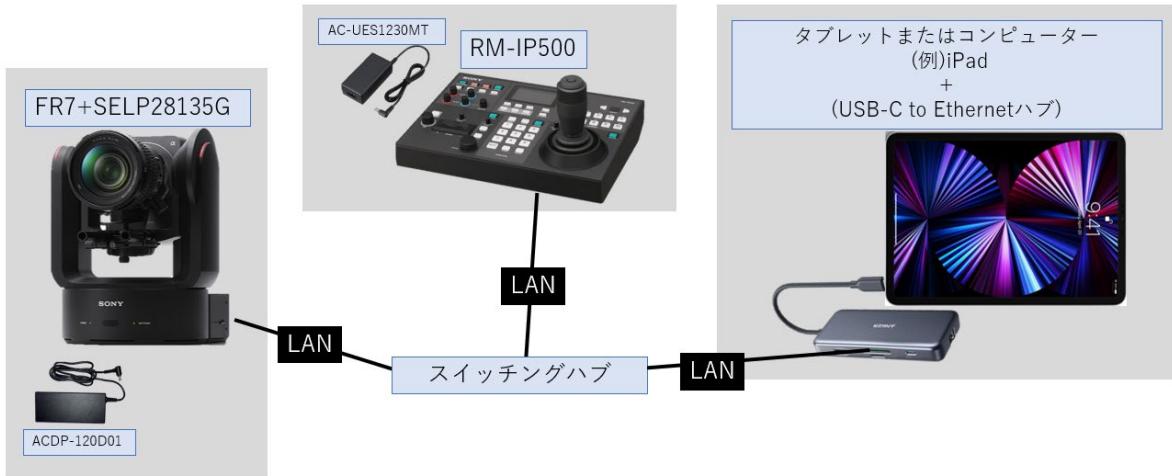


図 2 ハードウェア接続構成図

2.2. フローチャート

次に接続の手順をフローチャートとして示します。最初にカメラの Web App へログインするため、タブレットまたはコンピューターをネットワークへ接続してください。次にカメラをネットワークへ接続し、最後にリモートコントローラーをネットワークへ接続するようにしてください。接続を行う前にカメラとリモートコントローラーに関しては初期化することを推奨します。

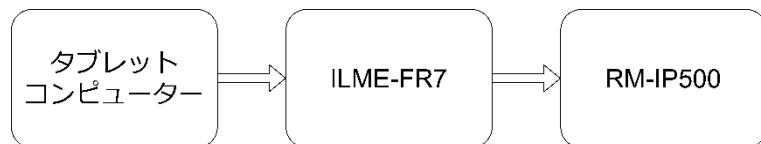


図 3 接続順概略

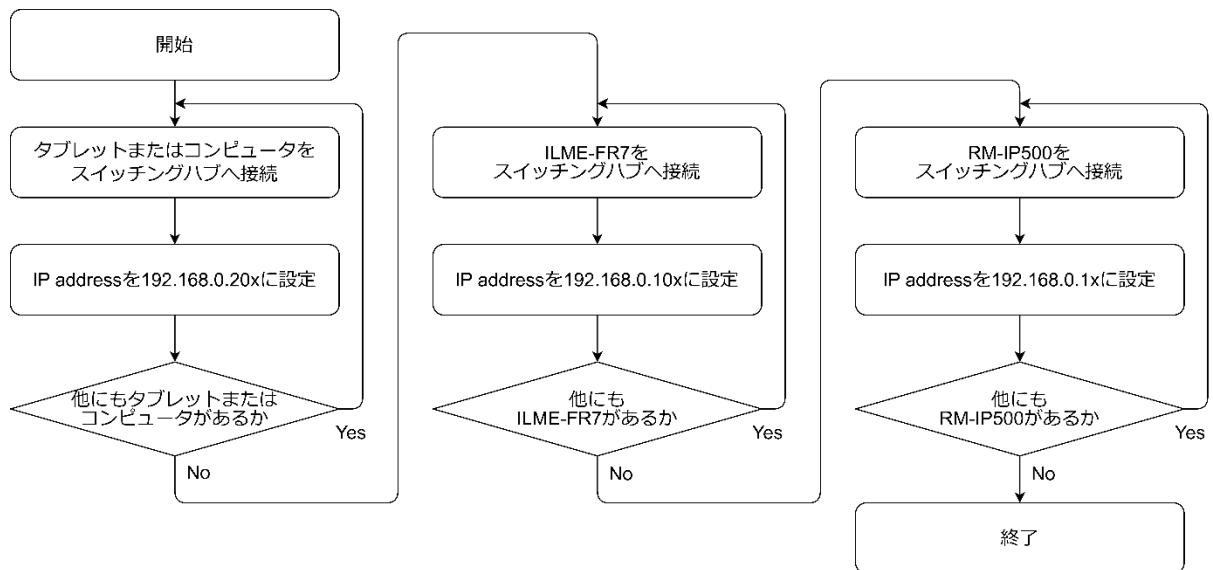


図 4 接続のフローチャート

3. 事前確認

タブレットまたはコンピューター、ILME-FR7、RM-IP500 の接続を行う前にネットワーク環境の確認を行います。

3.1. ネットワークの準備

タブレットまたはコンピューター、ILME-FR7 と RM-IP500 間の接続時の通信品質を担保するために、独立したネットワークでの運用を推奨します。使用するスイッチングハブは、1000BASE-T(Gigabit Ethernet)対応のもので、LAN ケーブルは必ずカテゴリー5e 以上のものを準備してください。

3.2. ネットワーク接続時の注意

ネットワークへの接続を行う際には1台ずつ別々にセットアップを行ってください。また、ネットワークへ接続するすべての機器はそれぞれのデバイスが別の IP アドレスになるようにセットアップする必要があります。同一の IP アドレスを複数の機器が持つ場合は、各デバイスに接続できなくなります。詳細なIPアドレス手順に関しては各デバイスのマニュアルをご覧ください。

3.3. ネットワーク接続の順番

ネットワークに接続する際は、タブレットまたはコンピューター、ILME-FR7、RM-IP500 の順番で接続していきます。接続方法の詳細は 4 章をご覧ください。

4. 機器を接続する

以下に実際の接続手順を示します。

4.1. タブレットまたはコンピューターを接続する

今回接続する Tablet(A)、Tablet(B) の 2 台のタブレット端末に対して、以下の手順で接続を行ってください。

4.1.1. iPad への LAN ケーブルと充電ケーブルの接続

iPad を例に接続方法の説明を行います。

はじめに、iPad へ以下のように USB-C ハブを接続してください。



図 5 iPad への USB-C ハブの接続

次に USB-C ハブへ LAN ケーブルを接続します。接続箇所は以下の通りです。



図 6 LAN ケーブルの接続

充電ケーブルを接続します。充電器は 30W 以上のものを使用してください。出力の低い充電器を使用するとタブレットが充電されずオペレーションが中断される可能性があります。



図 7 充電ケーブルの接続

4.1.2. iPad のネットワーク設定の変更

タブレットまたはコンピューターをネットワーク上有線接続した後に、設定画面から IP アドレスを設定してください。以下に一例として iPad を有線接続した際に IP アドレスを設定する手順を記載します。

- iPad を有線でネットワークに接続する既に Wi-Fi に接続されている場合は Wi-Fi 接続を解除してください。
- [設定]→[Ethernet]→[USB 10/100/1000 LAN]→[IPv4 アドレス]→[IP を構成]
- 自動→手動に変更

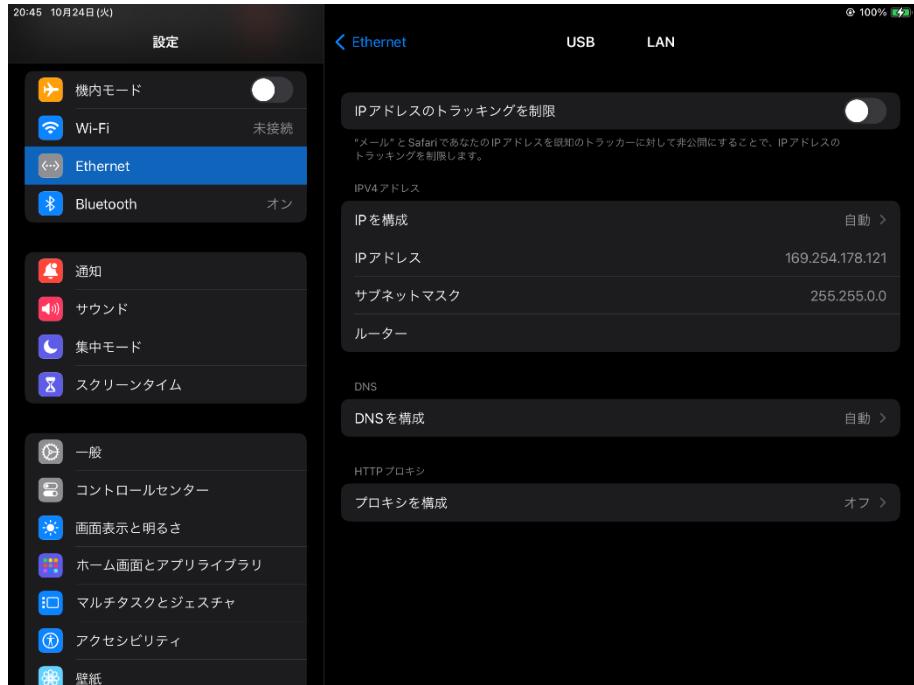


図 8 iPad ネットワーク設定画面

Tablet(A)として、表示される[手入力の IP]を下記に設定してください。

- IP アドレス: 192.168.0.201
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ルーター: 192.168.0.254

入力後、画面右上の[保存]を押下してください。

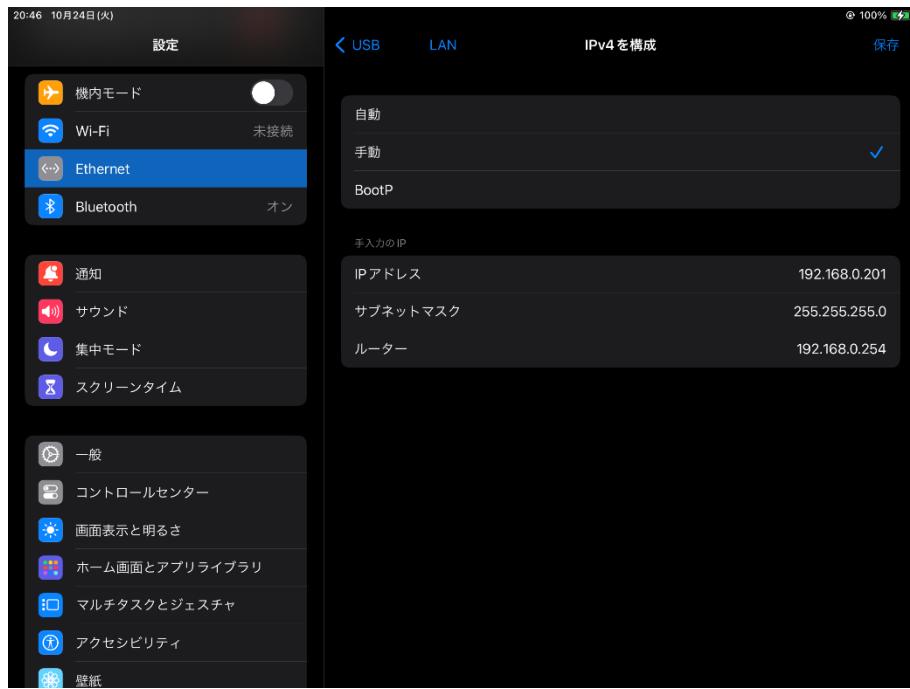


図 9 iPad IP ネットワーク設定画面

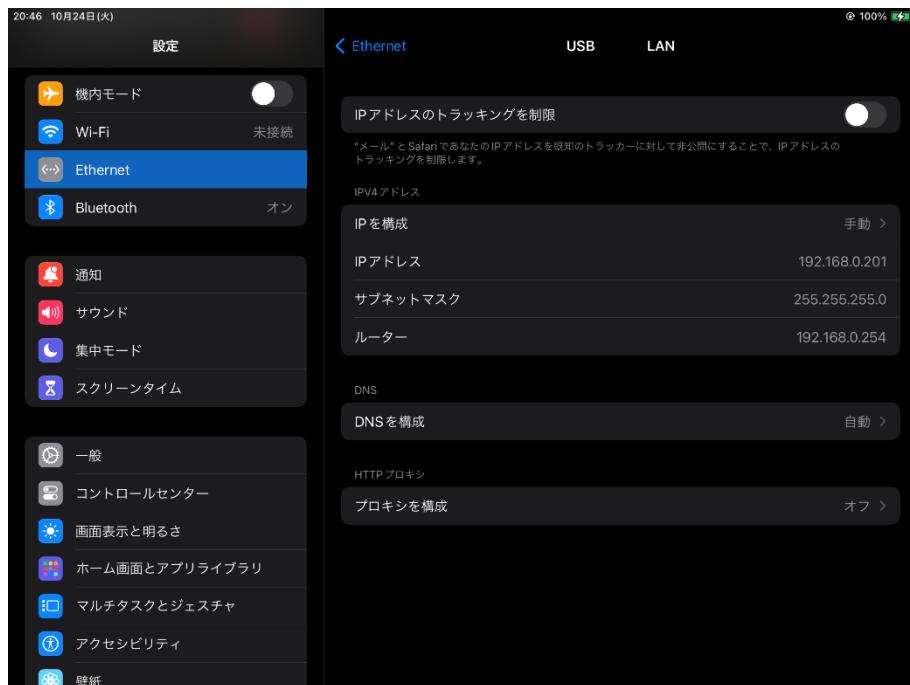


図 10 iPad ネットワーク設定画面

・Tablet(B)も同様手順で、IP アドレスを下記に設定してください。

- ・ IP アドレス: 192.168.0.202
- ・ サブネットマスク: 255.255.255.0
- ・ ルーター: 192.168.0.254

4.2. カメラの接続する

今回接続する ILME-FR7(A)、ILME-FR7(B)、ILME-FR7(C)の 3 台のカメラに対して、以下の手順で接続を行ってください。

4.2.1. VISCA over IP 通信を有効にする

本機の SETUP スイッチの 3 番を ON にして、VISCA over IP 通信を「有効」に設定してください。スイッチの設定はカメラの電源投入前に行ってください。

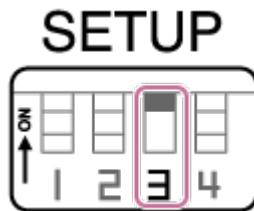


図 11 背面パネルの SETUP スイッチ

4.2.2. ILME-FR7 への LAN ケーブルと電源ケーブルの接続

本機をネットワーク上有線接続し、次の手順で設定画面から IP アドレスを設定してください。カメラへの電源と LAN ケーブルの接続は以下の図をご参照ください。



図 12 ILME-FR7 背面

4.2.3. Web App へアクセスする

強制固定 IP アドレス機能^{※1}を使用する方法、mDNS を使用する方法のいずれかで、Web App にアクセスしてください。

※1 ソフトウェアバージョン 3.00 以降の機能です。

1. 強制固定 IP アドレスを使用する場合

背面パネルの SETUP スイッチ 4 番を ON に設定し、本機を再起動する。再起動後にカメラの IP アドレスが 192.168.0.100 に固定されます。

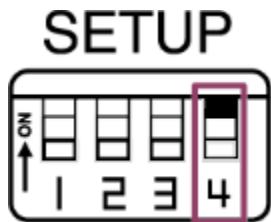


図 13 背面パネルの SETUP スイッチ 4 番

起動完了後に、「 <http://192.168.0.100> 」へアクセスすることで、Web App へアクセス出来ます。

ご注意

上記の操作はネットワーク上に 192.168.0.100 の IP アドレスを持つ機器が存在しないことを確認した上で背面スイッチの設定を行ってください。

2. mDNS を用いた方法でアクセスする場合

カメラ側面のメディア蓋の裏に印刷されている二次元コード(QR コード)を、タブレット等で読み取ります。

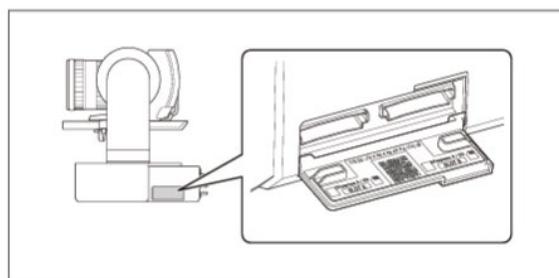


図 14 カメラの QR コード箇所

タブレットに表示されたリンクを開くことで Web App へアクセス出来ます。

ご注意

二次元コードが読み取れない、カメラ側面のメディア蓋の裏にアクセス出来ない場合は、下記を直接ブラウザの URL 欄に入力して Web App にアクセスしてください。

「 <http://ilme-fr7-<カメラのシリアルナンバー>.local/> 」

ご使用のネットワーク環境によっては mDNS を用いた方法で Web App にアクセス出来ない場合があります。

4.2.4. カメラの IP アドレスを変更する

ILME-FR7(A)における Web App の [Settings] タブから、[Network]→[Wired LAN]→[IPv4]→[DHCP] Off に設定し、設定項目を下記に設定。

- IP アドレス: 192.168.0.101
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ルーター: 192.168.0.254

入力後、画面右下の[OK]を押下してください。

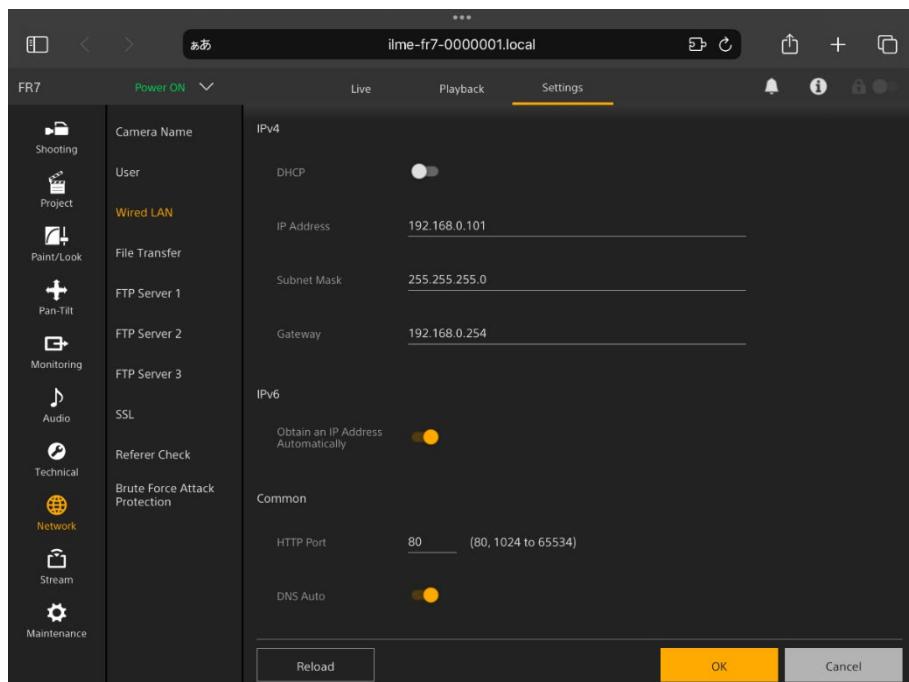


図 15 ILME-FR7 のネットワーク設定画面

ヒント

強制固定 IP アドレス機能で IP アドレスを変更した場合は、SETUP スイッチ 4 番を OFF にしカメラを再起動する必要があります。

ILME-FR7(B)とILME-FR7(C)も同様手順で、IP アドレスを下記に設定してください。

ILME-FR7(B)

- IP アドレス: 192.168.0.102
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 192.168.0.254

ILME-FR7(C)

- IP アドレス: 192.168.0.103
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- ゲートウェイ: 192.168.0.254

4.3. リモートコントローラーを接続する

今回接続する RM-IP500(A)、RM-IP500(B)の 2 台のリモートコントローラーに対して、以下の手順で接続を行ってください。

4.3.1. RM-IP500 への LAN ケーブルと電源ケーブルの接続

RM-IP500 は以下の図を参照し、LAN ケーブルと電源ケーブルを接続してください。



図 16 RM-IP500 背面

4.3.2. リモートコントローラーのネットワークセットアップ

リモートコントローラーの RM MENU ボタンを押して RM-IP500 本体のメニューを表示します(ボタン黄色点灯)。表示されたメニューから、[CONFIG]→[LAN]を選択すると以下の画面に遷移します。

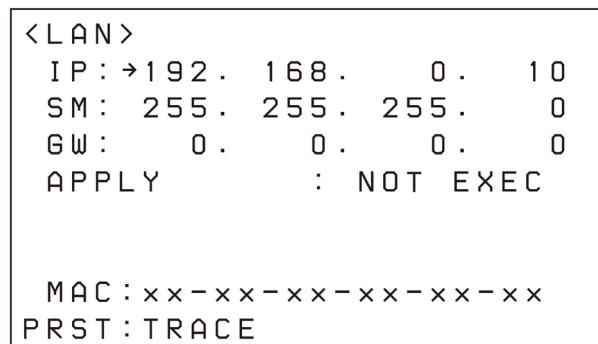


図 17 RM-IP500 ネットワーク設定画面

SELECT つまみと VALUE つまみを操作し、RM-IP500(A)と(B)を以下の設定にしてください。

RM-IP500(A)

- IP: 192.168.0.11
- SM: 255.255.255.0

- GW: 192.168.0.254

RM-IP500 (B)

- IP: 192.168.0.12
- SM: 255.255.255.0
- GW: 192.168.0.254

ヒント

詳細は RM-IP500 の取扱説明書を参照してください

4.3.3. カメラを割り当てる

リモートコントローラーでカメラを操作するためにカメラ番号とネットワーク上のカメラを紐づけます。このことを「カメラの割り当て」といいます。割り当てたカメラの一覧は「カメラテーブル」として本機に保存されます。カメラ番号はカメラ選択部の GROUP ボタンと CAMERA ボタンの番号で割り当てます。カメラの割り当ては、RM-IP500 本体のメニューの [AUTO IP SETUP] → [ASSIGN CAM]で行います。

```

<ASSIGN CAM>
[FROM]
→GROUP NUM    : 01
CAMERA NUM   : 01
KEEP IP      : NOT EXEC

```

PRST:TRACE

図 18 ASSIGN CAM 設定画面

- 割り当てるカメラがネットワークに接続され、電源がオンであることを確認する。
- RM MENU ボタンを押して選択(ボタン黄色点灯)する。
トップメニューが表示されます。
- SELECT つまみを回して、AUTO IP SETUP にカーソルを合わせる。
- SELECT ボタンを押す。
AUTO IP SETUP メニューが表示されます。
- SELECT つまみを回して、ASSIGN CAM を選択し、SELECT ボタンを押す。
- SELECT つまみを回して GROUP NUM にカーソルを合わせる。
割り当てを開始するグループ番号を設定します。
- VALUE つまみを回して値を設定する。
時計回りに回すと、数値が大きくなり、反時計回りに回すと、数値が小さくなります。
- SELECT つまみを回して CAMERA NUM にカーソルを合わせる。

割り当てを開始するカメラ番号を設定します。

9. VALUE つまみを回して値を設定する。

時計回りに回すと、数値が大きくなり、反時計回りに回すと、数値が小さくなります。

10. すべての設定が完了したら、SELECT つまみを回して KEEP IP にカーソルを合わせる。

11. VALUE つまみを回して NOT EXEC を EXEC に切り替えて、VALUE ボタンを押す。

画面に WAIT FOR A FEW SECONDS のメッセージが表示されます。

12. メッセージが消えたら、VALUE つまみを回して NO を YES に切り替えて、VALUE ボタンを押す。

```
<CONFIRM EXECUTION>
→CONFIRM      : YES
```

図 19 CONFIRM 画面

カメラを追加するには

RM MENU の[AUTO IP SETUP]→[SETUP IP]または、[AUTO IP SETUP]→[ASSIGN CAM]で再設定してください。

割り当て済みのカメラテーブルの最後に追加されます。

その他のリモートコントローラーの操作手順に関しては、RM-IP500の取扱説明書をご覧ください。

5. トラブル時の対処

接続がうまくいかない場合、以下の原因と対処方法を参考にしてください。

5.1.1. タブレットまたはコンピューターが接続できない

- ケーブル類の接続を確認してください。
- 接続できない機器のネットワーク設定を初期化してください。
- 下記手順をご参照の上、カメラの IP アドレスの設定を確認してから、Web App へアクセスしてください。

5.1.2. カメラの Web App へ接続できない

- LAN 端子の [LINK] LED が点灯していることを確認してください。[LINK] LED が点灯していない場合は、ネットワークの接続を再度お確かめください。
- カメラの背面 SETUP スイッチ 4 番を確認してください。カメラの背面 SETUP スイッチ 4 番が ON の場合はカメラの IP アドレスが 192.168.0.100 に固定されます。通常時は OFF で使用してください。
- 他の周辺機器の IP アドレスが重複していないことを確認してください。
- 下記をご参照の上、ネットワークリセットを実行してください。
ネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻すには、SETUP スイッチの 1 番は OFF のままで、RESET スイッチを 5 秒以上長押しします。
本機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻すには、SETUP スイッチの 1 番を ON にしてから、RESET スイッチを 5 秒以上長押しします。

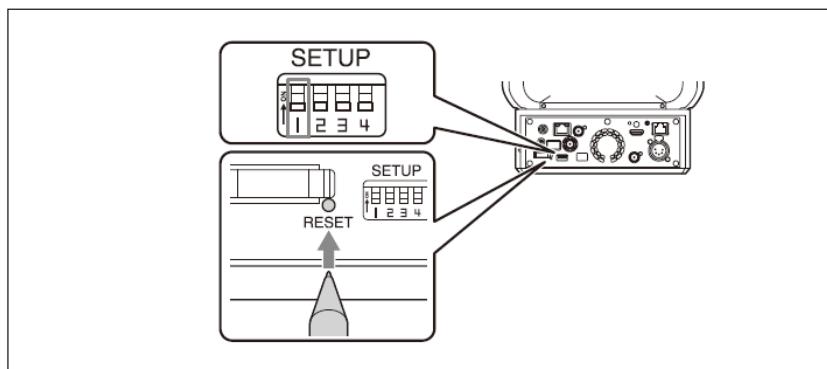


図 20 ネットワークリセット手順

ネットワークリセット後にカメラのネットワーク設定は DHCP が ON の設定となります。

また、ユーザー名およびパスワードも工場出荷状態へと変更されるため、リセット後 Web App への初回接続時には以下を入力してください。

ユーザー名 : admin

パスワード : なし

入力後、カメラの Web App の画面が表示されます。

5.1.3. リモートコントローラーからカメラが操作できない

- ・ カメラの POWER ランプが緑色またはオレンジ色で点灯していることを確認してください。
- ・ カメラとリモートコントローラーの接続を確認してください。
- ・ Web App を使用して初期設定を完了してください。
- ・ カメラの端子部にある SETUP スイッチの 3 番を ON にして再起動してください。
- ・ Web App の [Settings] タブまたはカメラメニューの [Network] メニュー > [Wired LAN] でカメラの IP アドレスを確認してください

6. 商標について

- ・ iPad は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- ・ Anker は、アンカー・ジャパン株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- ・ QR コードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- ・ その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

7. 改定履歴

日付	改定版	内容
2023/11/28	1.00	初版
2025/06/25	2.00	機能追加(Ver. 3.00)に伴う変更

- 本書の全部または一部を、ソニー株式会社の書面による事前承認なしに、いかなる目的でも複写または譲渡することはできません。
- ソニー株式会社は、本書または本書に含まれる情報を予告なしに変更する場合があります。
- ソニー株式会社は、製品および関連文書に起因する損害、逸失利益、および第三者からの請求に対して、一切の責任を負わないものとします。
- 本書には、それぞれの会社が所有する登録商標および商標が含まれています。